

## 【校長室便り】 No.47

平成31年2月12日(火) 土佐町小中学校 谷内宣夫

中学校の「自学ローテーション」が実施されています。家庭学習で作成した「自学ノート」の良さを競うコンテストです。日頃、皆さんの学習方法やノートの取り方について「なんて無駄なことをやっているのだろう」「勉強の仕方が分かってないな」と痛感していたので、まず「ノートの取り方」について書きます。各教科によって違うので各教科の先生からも再度、指導してもらってください。

### ノートの取り方・作り方

#### ノートをとる目的

どうしてノートをとる必要があるのか？

答えは簡単「忘れるから」です。授業での説明を聞くだけなら、数時間で半分忘れ、数日で80%以上忘れるのが人間の脳です。授業で学習したことを忘れないようにするために「ノートをとる」のです。そして、たとえ忘れたとしても、すぐに思い出せるようにしておくために「ノートをとる」のです。

#### どんなノートなら授業の内容をすぐに思い出せるのか

### 自分にわかりやすいノートを作ること 授業内容を思い出しやすいノートを作ること

#### 【ノートに余白を残す】

ノートは書いて終わりじゃない。黒板を写すだけではほとんど意味が無い。写さないのは問題外！後で書き込むための余白を確保しなければならない。ノートは書いた後が勝負なのです。

余白には後で調べたことや追記・

自分の考えなどを書くのである。そのため

◆授業中はノートの見開きの左側にしか書かない。

◆または、ノートを縦半分に折っておき

その左半分に板書されたことを書く。

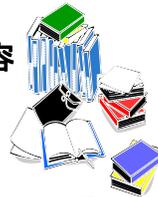
◆右半分には授業中、先生が説明したことや「大事！」と言ったことを、走り書きでかまわないので素早く書き込む。

「なるほど」「あ～そうか」と思ったことも書くとなお良い。

また、右側のページには家庭学習で授業を思い出し振り返ったことや調べたことを書き込む。

裏に具体例を印刷しています・参考にしてください。

家に帰ってからその日にあった授業を振り返るとき、ノートの右側に授業の最初から、板書されたこと、先生が説明したことや冗談を言ったこと、友達の発言を思い出しながら書いていくという作業をすれば、復習がしっかりとでき学習内容がきちんと整理されて理解できるようになります。



「家庭学習で何をすればよいかわからない」と言っている君！現在ほとんど家庭学習を行っていない君！または、「家では勉強しているのにテストになると全然わからない」と悩んでいる君！すぐにこの方法でノートを作ってみよう。すごく良い家庭学習方法です。



あと、自分で考えて解いた問題がまちがっていたとしても、消しゴムで消さないで残しておくことが大切です。



まちがったところを赤で直して、なぜまちがったのか、どこでミスをしたのかやり直して記録として残しておくことです。

ほとんどの生徒は答えが間違っていたらすべて消してしまっています。途中まではOKなのにすべて消すので、どこまで考え方が正しくて、どこから勘違いしているのか分からなくなるのです。間違ったところから赤線を引き、直すことが大切です。そして次に、同じ問題が出されたとき同じミスをくり返さないですむようにしておく事が最も大切なことなのです。さあ、これからしっかりとノートを取る・作る為に授業中は集中です！



「これが正しいノートの取り方」というものはない。「良いノート」は、人によって様々である。



「こうした方がイイ」「こんなやり方がイイ」といろいろと紹介はできるが「これが決め手！というものは無い」と思ってもらいたい。いろんな方法を試して自分に合ったやり方をあみ出すのである！できること・分かっていることを書き写しているだけで、何の役にも立たない家庭学習になっていませんか？「家庭学習ノート」を用意して授業で書きなぐったことを整理し、まとめてみませんか。すぐに効果が出ますよ！やるなら(時間を使うのなら)自分のためになるやり方(使い方)をしよう!!!

